

05 令和4年度 学校評価（学校評議員）2

第1回
令和4年5月19日

(1) 会次第及び議題

- 1 委嘱状交付
- 2 校長挨拶及び会則説明
- 3 委員の紹介、役員選出、会長挨拶
- 4 学校評議員会（コミュニティ・スクール）について
- 5 学校経営方針
- 6 北松西高の概要
- 7 施設の整備実績
- 8 本校の魅力化及び存続策について
 小中高一貫教育
 アイランドチャレンジ事業
- 9 R3 第3回コミュニティ・スクールの内容について
- 10 提言等
- 11 その他

(2) 学校評議員からの意見・助言等および対応

- ① 高校2年生・3年生が入学時より在籍者数が減っている。その理由は何か。
→主な理由は転学による進路変更によるもの。近年増加しており、本人と保護者の意向を尊重しています。
- ② アイランドチャレンジにおける議会発表を、広く町民に聞いてもらうために広い会場で実施できないか。
→関係機関と連携しながら、校内で検討して参ります。
- ③ 「あわび館」「小西邸」の活用には高校生が参加している。高校からの働きかけがあるのか。
→高校へ依頼があったものは生徒へ周知している。個別に参加を打診する場合があります。
- ④ 小中高一貫教育、アイランドチャレンジなど教育的効果がある取組であるが、在籍者が減少しているなかで、生徒一人一人の負担が大きくなっているのではないか。じっくり、自分の進路実現に向けて考える時間や学習に取り組む時間を確保させてほしい。
→ご意見の通り、生徒の進路実現が第一である。生徒の負担が大きくならないように学校での各種取組を整理することも大切である。そのため、何を重点的に取り組むか、学校がどこまで指導するか、地域がどのように協力するかについて、今後ご意見をいただくと大変ありがたいと考えます。
- ⑤ お金・経済などに関する教育や講演会の実施は行われているか。
→県消費生活センターによる家庭科の授業支援やヤング講座を活用して消費者教育を行っている。成年年齢引き下げに伴い、今後も消費者教育を行って参ります。

第2回
令和4年8月1日

(1) 会次第及び議題

- 1 委嘱状交付
- 2 学校評価（生徒・保護者）中間評価
- 3 学校評価（分掌・学年・教科）中間評価
- 4 施設の整備計画
- 5 北松西高校スクール・ミッション
- 6 提言等
- 7 その他

(2) 学校評議員からの意見・助言等および対応

- ① 生徒が睡眠時間を確保できるような指導は行われているか。午睡の取組をしている学校もあるようだが。
→生活手帳を活用して生徒の日々の生活スケジュールを確認しており、個別に早めの就寝を促すなどの指導を行っています。
- ② 生徒のスマホ等の使用時間や指導の状況、トラブル等の発生について
→学校のルールとして使用時間帯を定めていますが、現状として長時間使用している生徒もいることは把握しています。個別に面談等で声かけを行って参ります。今年度は現時点まで、生徒間のスマホ等を介したトラブルは発生しておりません。
- ③ スマホ等の使用について家庭との連携はどうなっているか。保護者への研修等も必要ではないか。
→PTA総会や三者面談等で、家庭での指導をお願いしております。保護者向けの研修についても検討して参ります。
- ④ 高校魅力化について、「小値賀らしさ、小値賀でしか学べないこと」をテーマとして大きな柱をつくっていけないか。
→北松西高校魅力化推進協議会や校内でも検討して参ります。
- ⑤ 小値賀町が実施している「ふるさと留学」を利用して小・中学生が小値賀に来ているが、高校進学へは繋がっていない。高校生も多くの活動を行っており余裕がない。地域が島をあげて中学校からの進学率を上げるよう考えていくべきではないか。
→「ふるさと留学」は1年間を基本としており、転校（転学）が容易でない高校では、「ふるさと留学」を繋げることは現実的に厳しいと考えている。島外の中学生より、島内の中学生に本校の良さをしっかり伝えていきたいと考えています。
- ⑥ 高校生が議会発表で提案したものについては、今後町として事業化を検討していきたい。
→生徒・職員が自信を持てる大変ありがたいご意見です。
- ⑦ オープンスクールでは、高校生が温かく迎えてくれ、生徒と先生方の強い絆を感じることが出来た素晴らしい内容であった。今後もきめ細やかな指導を続けて欲しい。
→今後も、生徒主体での運営を行い生徒が本校の魅力を発信できる場として充実させて参ります。
- ⑧ 都市部の高校は進学実績などで競争があるように、地方の高校は魅力化づくりの競争をさせられているようにみえる。北松西は少人数でも授業が工夫されており、進路実現に向けて十分に取り組んでいただいているところが十分な魅力である。これ以上のプラスαの取組は負担が大きいと思う。

	<p>→今後も、1人1人の夢の実現に向けて取り組んで参ります。また、小中高12年間の教育を受けた子供たちが成長して、家族を持ったときに小値賀で教育を受けさせたいと思えるような姿を目指したいと考えています。</p>
<p>第3回 令和5年 2月20日</p>	<p>(1) 会次第及び議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 校長挨拶 2 学校評価（生徒・保護者）最終評価 3 学校評価（分掌・学年・教科）最終評価 4 施設の整備計画 5 令和5年度小中高一貫教育の方向性 6 令和5年度からの学校運営委員会について 7 提言等 8 その他 <p>(2) 学校評議員からの意見・助言等および対応</p> <p>① スマホ等の使用時間は決めているのか。 →アウトメディアの活動を実施しております。使用時間帯を決めていますが、長時間使用している生徒も存在しており、メディアコントロールの指導を引き実施いたします。</p> <p>② 保護者アンケートでの読書習慣に関する評価が低い点について →家庭での読書は少ないようである。学校では朝の読書の時間設定や学級文庫の設置、授業における図書を紹介などを行っており、読書時間の確保に努めております。</p> <p>③ 施設の老朽化が進んでいる。安全確保のため点検の徹底を。 →定期的な安全点検を実施しており、必要に応じて修繕を行う。大規模な修繕については、引き続き県への予算請求を行って参ります。</p> <p>④ 地域探究活動の進め方について →1年時後半で生徒の研究したいテーマごとに班を編制する。基本的には3年次の発表までは同じ班で行う。2年生は「観光班」「漁業班」で活動。1年生は「特産品開発」「環境」をテーマに進めている。本人が関心のあるテーマに関して課題を見つめる点を大事にして指導しております。</p> <p>⑤ 田舎力甲子園には予選はあったのか。 →2年生観光班が優秀賞を受賞した田舎力甲子園は、福知山公立大学主催で今年度10回目。今年度は応募54策の中から11策が最終プレゼンへ進む。本校もその1つに選ばれ優秀賞を受賞。漁業班は「長崎を元気にするアイデアコンテスト」に参加し、奨励賞を受賞。生徒の活動に対する意欲向上のため、担当者が応募できるコンテストを紹介し、応募を進めました。</p> <p>⑥ 次年度からの学校運営協議会における部会について、メンバーはどのように決定するのか。 →原案を提示させていただき、委員の希望についてはできる限り対応したい。第1回運営協議会時に確定させる予定です。</p> <p>⑦ 「りっぱカンパニー」の海岸清掃には高校生や先生の参加が多い。高校としてはどのような形で参加しているのか。 →生徒会活動として参加する場合や地域探究の調査活動の一環として参加する場合があります。</p>